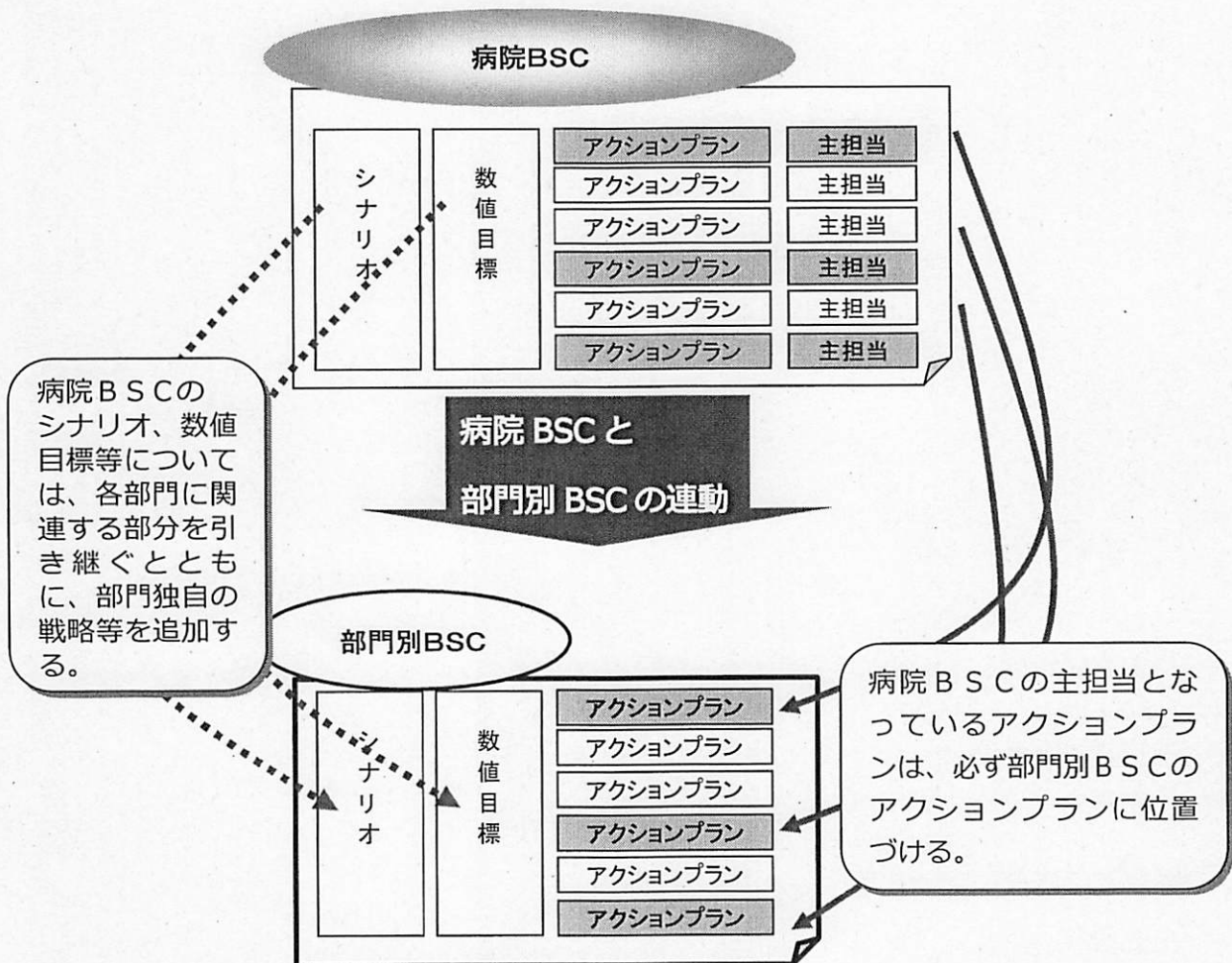


(参考)

■BSC (バランス・スコア・カード) とは

組織全体の理念・ビジョンを設定し、それを達成するための視点(財務の視点、顧客の視点、内部プロセスの視点、学習と成長の視点の4つ)から目標、指標の設定、評価を行うもので、進行管理や自己評価、また職員の意識共有を図ることができる。

中期計画に定めた各病院の取組目標について、視点ごとに病院BSCを設定し、病院BSCの目標を達成するために部門別BSCを作成している。



第四次滋賀県立総合病院中期計画 バランス・スコアカード

病院名		第四次滋賀県立総合病院中期計画 バランス・スコアカード										
ビジョン		県立急性期医療機関として総合的な医療機能を備え、がんをはじめあらゆる疾患に対する高度な医療を追求、実践する。医療の実践から得られる知財、人材、情報通信技術を活用し、全県の医療の質の向上と新医療の創生に最大限に取り組み。地域医療人材の育成、予防・健康づくりの取組等を通じ、県民の望ましい健康の創生に貢献する。医療政策の方向性を踏まえ、機能分化と連携による医療体制の構築を進めるとともに、組織・財務基盤の強化を図り、健全で安定した病院運営を実現する。										
区分	シナリオ	戦略的目標	主な成果	業績評価指標	H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	H30年度目標値	H31年度目標値	H32年度目標値	注	主なアクションプラン
顧客の視点		・あらゆる疾患への対応 ・利用者の視点にたった改善 ・がん医療の充実 ・医療機能の評価	選ばれる病院になるための患者満足度向上	入院患者満足度調査で満足あるいはやや満足と答えた割合	84.7%	87.3%	92.1%	88.0%	88.0%	88.0%		・がん診療の充実 ・あらゆる疾患に対する医療の充実 ・接遇および患者さんの視点にたった病院機能の向上 ・相談支援の充実 ・健康情報の提供 ・検査の充実 ・薬剤管理・服薬指導の推進 ・病院給食の充実 ・栄養指導件数の維持 ・情報管理の徹底 ・客観的な医療機能の評価 ・医療安全の啓発と事例分析の活用
				外来患者満足度調査で満足あるいはやや満足と答えた割合	66.7%	76.1%	75.5%	79.0%	80.0%	81.0%		
				平均在院日数	13.0	12.9	13.3	12.4	11.8	11.5		
				新規入院患者数	9,642	9,547	9,676	10,708	11,451	11,723		
				病床利用率	81.8%	78.3%	77.8%	80.9%	81.9%	82.2%		
				がん患者数(年間退院患者数)	2,980	2,928	3,290	3,309	3,538	3,622		
				脳神経疾患・心臓血管疾患・糖尿病患者数合計(年間退院患者数)	1,787	1,825	1,825	1,980	2,118	2,168		
				QI参加項目における平均値より良好な項目の割合	-	60.6%	57.6%	68%	72%	75%		
財務の視点		財務管理の徹底 収益の確保 費用の適正化	収支の改善 医療収益の増加 医療費用の適正化(材料、時間外、外注検査など)	経常収支比率	98.2%	95.5%	95.2%	97.2%	100.2%	100.3%		・財務状況の共有 ・適切なベットコントロール ・適切な診療報酬の請求 ・費用の適正化 ・DPCコストデータの活用 ・医薬品の適正在庫管理
				医療収益の増加	13,938	14,306	14,501	15,148	16,067	16,186		
				医療費用の適正化(材料、時間外、外注検査など)	15,356	16,256	16,451	16,829	17,006	17,066		
内部プロセスの視点		医療機能の強化 地域連携の深化 チーム医療の推進	地域の医療需要への対応 地域における医療機能の分担の推進 医療の標準化・安全の推進	救急受入れ件数	1,738	1,802	2,081	1,800	1,800	1,800		・がん医療の向上および均てん化の推進 ・救急の受入れの拡大 ・紹介率、逆紹介率の向上 ・検診と診察の連携強化 ・遠隔モニタリングの活用 ・クリニカルパスを利用した医療の質の向上
				紹介率	66.8%	68.4%	79.3%	70.0%	72.0%	75.0%		
				逆紹介率	47.8%	58.1%	62.8%	55.0%	58.0%	60.0%		
				バリエーション分析施行パス数	0	0	3	4	5	6		
学習と成長の視点		医療を支える人材の確保 職員の充実感・達成感の向上 職員のスキル向上	医療を支える人材の確保 職員の充実感・達成感の向上 職員のスキル向上	総医師数(年度当初)	106	105	104	104	104	104		・医療を支える人材の確保 ・研究所と診療部門の連携による臨床研究の推進 ・やりがいを感じられる職場づくり ・積極的な研修医の採用 ・教育機能の強化
				総看護師数(年度当初)	452	466	472	498	498	498		
				職員アンケート項目「仕事に充実感や達成感を感じていますか」での評価(そう思う、ややそう思う)率	62%	64%	66%	67%	68%	70%		
				初期研修医数(医科)	9	7	9	13	14	14		
研修体制の充実				職員必須研修参加率(感染)	87.1%	94.6%	97.6%	100.0%	100.0%	100.0%		
				職員必須研修参加率(安全)	87.1%	95.1%	96.7%	100.0%	100.0%	100.0%		

2

BSCフォローアップシート(期末評価用)

※参考例

看護部

視点	BSCの当初目標設定内容		
	業績評価指標	数値目標	主なアクションプラン
顧客の視点	各病棟の接遇向上に向けた取り組み回数	平均3件/年	患者サービスの充実
	入院支援センターの業務拡大件数	2件	
	介護支援連携指導料算定件数	300件	地域との連携推進
	関連部署への院内・外留学人数	平均3人/各部署	
	退院調整カンファレンス開催事例の振返り件数	各所属平均	
	インシデントアクシデント(レベル3b)件数	9件以下	医療安全の充実
	擦式アルコール使用量	10L	
	ICTラウンドの結果○の割合	85%	
財務の視点	看護必要度30%以上	30%維持	7対1入院基本料の維持 看護補助加算取得の維持
	病床利用率	85%	効率的なベッドコントロールの実施
	褥瘡ハイリスク加算の取得件数	300件	コスト意識の改革
内部プロセスの視点	総看護師数(年度当初人数)	480	看護師確保対策の充実
	離職率	6.6%	
	前残業の内容調査回数	1回/各所属	前残業の軽減(業務改善)
	多職種カンファレンス開催数	5回/月	多職種間のコミュニケーションの活性化
	針刺し事故件数(看護師)	10件	感染対策の充実
学習と成長の視点	特定分野の認定看護師数	延べ16人	人材育成・教育
	看護管理者の研修新規受講者数	ファースト3名 セカンド2名	
	院内認定コース修了者数 (静脈注射・ICLS)	約45名研修 (延べ445)	
	院内ラダーV及びIV修了者数	事業庁レベル V・IV.15人	
	がん関連看護研修参加時間数	2時間	
	院内教育の再検討課題実施回数	2回	
	倫理学習会実施回数	平均 3回/各病棟	